(第一面)

### 設計内容(現況)説明書

建築物の名称	
設計者等氏名	

#### 【基本事項】

125/1	争垻】				
確認			設計內容(現況)説明欄		設計内容
事項	確認項目	項目	設計内容(現況)	記載 図書	確認欄
建物の概要	建築物に関する事項	用途	・建築物の用途 □ 非住宅建築物 □ 住宅 □ 複合建築物 申 ・住宅 または複合建築物の住宅部分 請 □ 共同住宅等、複合建築物の住戸 □ 一戸建ての住宅 ・非住宅 または複合建築物の非住宅部分 カッコ内はモデル建物法による用途 □ 事務所等 (□ 事務所モデル) な □ ホテル等 (□ ビジネスホテルモデル □ シティホテルモデル) る □ 病院等 (□ 総合病院モデル □ 福祉施設モデル □ クリニックモデル) □ 百貨店等 (□ 大規模物販モデル □ 幼稚園モデル □ 学校等 (□ 学校モデル □ 幼稚園モデル □ 大学モデル □ 講堂モデル) ② 飲食店等 (□ 飲食店モデル) □ 飲食店等 (□ 集会所モデル) □ 工場等 (□ 工場モデル)		
	申請の対象となる範囲		・申請する評価の範囲(該当する全て) □ 一戸建ての住宅 □ 共同住宅等、複合建築物の住戸 □ 非住宅建築物全体・複合建築物の非住宅部分全体 □ フロア・テナント □ 建物用途 □ 共同住宅等の住棟・複合建築物の住宅部分全体 □ 複合建築物全体 □ その他の部分		

#### 【参考】申請の対象となる範囲と設計内容説明書の関係

申請の対象となる範囲	住宅用	非住宅用	共用部分用	住棟用
(以下代表的な分類)	【第二面】	【第三面】	【第四面】	【第五面】
一戸建ての住宅	0	_	_	_
共同住宅等、複合建築物の住戸	○%1	_	_	_
共同住宅等の住棟、複合建築物の 住宅部分全体	○*1		0	0
非住宅建築物全体、複合建築物の 非住宅部分全体	_	0	_	_
フロア・テナント・建物用途	_	○*2	_	_
その他の部分	適宜選択			
複合建築物全体	○*1	0	0	○*3

- ※1・・・住戸毎に作成する。ただし別の表を用いることも可能。
- ※2…申請単位毎に作成。ただし別の表を用いることも可能。
- ※3・・・住宅仕様基準、誘導仕様基準を含む場合は作成不要。

BELSに関して記載する数値は以下のとおりとします。

- ・UA 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・ηAC 小数点第一位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・年間熱負荷係数 小数点第一位以下を切り上げた数値を記載してください。
- ・BPI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・BEI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・設計・基準一次エネルギー消費量 小数点以下一位未満を切り上げた数値を記載してください。
- ・削減率 1未満の端数があるときは、これを切り捨てた数値を記載してください。 (一次エネルギー消費削減量とは「基準一次エネルギー消費量ー設計一次エネルギー消費量」をいいます。)

住宅又は複合建築物の住宅部分 一戸建て住宅・ □ 共同住宅等、複合建築物の住戸 ( □ 別表に記載)) ( | -住戸番号 ※共同住宅等の場合以外は記入不要 【外皮に関する事項】 設計内容(現況) 説明欄 確認 設計内容 確認項目 事項 項目 設計内容 (現況) 記載図書欄 確認欄 外皮平均熱貫流率(UA) □ 計算書 外皮平均 熱貫流率 設計値( )【W/m²K】 基準値( ) [W/m²K] □ 仕様書 性能基準等 冷房期の平均日射熱取得率の計算値 (η AC) □ 平面図 外皮平均日射熱 躯 □ 立面図 設計値( 基準値( ) ) 取得率 体 □ 建具表  $\mathcal{O}$ 基準の選択 □ 仕様基準 □ 誘導仕様基準 外 □ 仕様書 □適 皮 □ 熱貫流率の基準に適合 □ 平面図 性 躯体の断熱 □ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合 □ 立面図 性能等 能 仕様基準 □ 構造熱橋部の基準に適合(鉄筋コンクリート造等の場合) □ 建具表 쑄 □ 開口部の熱貫流率と目射遮蔽対策の基準に適合 開口部の断熱 □ 緩和措置あり 性能等 □ 窓の断熱(2%緩和) □ 窓の日射(4%緩和) 一次エネルギー消費量に関する事項】 設計内容(現況) 説明欄 確認 設計内容 確認項目 車項 確認欄 項目 設計内容 (現況) 記載図書欄 事基 計算対象 □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 平面図 項本 床而積 □ 求積図 □ 仕様基準・誘導仕様基準を採用 □ 性能基準等 □ 計算書 □ 計算結果の記入 □ 仕様書 ・設計一次エネルギー消費量 (その他除く) 次 ) GJ/年 □ 適 消工 費ネ 計算結果等 ・基準一次エネルギー消費量(その他除く) 量ル ) GJ/年 ····① ( ギ • B E I ( □ 一次エネルギー消費量に関する仕様基準(住宅部分) □ 誘導仕様基準(住宅部分) □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕上表 暖房方式 □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合 □ 建具表 □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 矩計図 冷房方式 □ 平面図 □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合 □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 機器表 換気設備方式 設 □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合 □ 系統図 備 設備機器に □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による  $\mathcal{D}$ 給湯設備 □滴 係る概要 □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合 概 □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による 要 照明設備 □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合 太陽光発電の □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による 使用について <u>\_\_\_</u> コーシ゛ェネレーションの □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による 使用について 外皮基準 ) [W/m²K] □ 計算書 □滴 再生可能エネ □ 一次エネルギー消費量消費量削減率(省エネのみ)が基 □ 計算書 「ZEHマーク」、 □適 Z ルギー等除き 準を満たしてる 「ZEH-M」マーク E 再生可能エネ □ 一次エネルギー消費量消費量削減率(省エネ等含み)が 計算書 に関する表 Н □適 ルギー等加え 基準を満たしてる ※選択した 外皮基準・一次 □ 誘導仕様基準に適合 (ZEH Oriented又はZEH-M Oriented □ 仕様書 ク 場合のみ エネルギー消費 ※1に限る)※1共用部無しの場合に限る □ 機器表 量水準 □無 □ 仕様書 □有

□ 太陽光発電設備 □ 太陽熱利用設備

□適

□ 機器表

П

再エネ設備の有

無•種類

□ その他

# (第三面) 【非住宅用】

非住宅建築物又は

(口全体	□ フロア	( □ 別表に記載)	□ テナント	□ 建物用途	( □ 別表に記載))
申請の部分※					

※フロア・テナント・建物用途を複数申請する場合以外は記入不要

### 【外皮に関する事項】

確認	確認	設計內容(現況) 説明欄			
事項	項目	項目	設計内容(現況)	記載図書欄	確認欄
性能等の外皮		外皮計算 結果等	□ 年間熱負荷係数 設計値 ( ) MJ/ (㎡・年) 基準値 ( ) MJ/ (㎡・年) ・ B P I ( ) □ モデル建物法 ・ B P I m ( )	□ 計算書 □ 仕様書 □ 平面図 □ 立面図 □ 建具表	□適

## 【一次エネルギー消費量に関する事項】

<u> </u>	1 / 1	DA TIEN / D	5- A1		
確認	確認項目		設計內容(現況) 説明欄		設計内容
事項	作心切口	項目	設計内容(現況)	記載図書欄	確認欄
事基		計算対象	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 平面図	
項本		床面積		□ 求積図	
			□ 通常の計算法 計算結果の記入	□ 計算書	
			・設計一次エネルギー消費量(その他除く)	□ 仕様書	
			( ) GJ/年		
			・基準一次エネルギー消費量(その他除く)		
<u> </u>			( ) GJ/年 ···①		
次 消エ			· BEI ( )		□適
費ネ		計算結果等	ローモデル建物法		
量ル			· BEIm ( )		
ギー			□ BEST省エネ基準対応ツール(以下「BEST」)		
			・換算後の設計一次エネルギー消費量(その他除く) ( ) G J / 年		
			・ 基準一次エネルギー消費量 (その他除く)		
			・産年 (人工不ルイン 行貨里(その他体へ) ( )GI/年 ・・・・①		
			・換算後のBEI ( )		
		空調設備	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 仕上表	
<b>⇒</b> n.		換気設備	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□建具表	
設備	設備機器	照明設備	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 矩計図	
の	に係る概要 (BEST	給湯設備	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 平面図	□適
概	を除く)	昇降機	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 機器表	
要	_,,,,	エネルギー	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 系統図	
		利用効率化設備	ロ エイルヤー相負性化計算プログラムの山力宗による	□ 入力シート	
	「ZEBマー		□ 通常の計算方法の場合	□ 計算書	
	ク」に関する 表示		□ BESTの場合(換算後の数値)		
			・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量(その他除く)		
	※選択した		( )GJ/年 ···②		
	場合のみ		・再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減量(その他除く)		
		再生可能	( )GJ/年 ···· ③=①-②		
Z		エネルギー除き	<ul><li>再生可能xネルギーを除いた設計一次xネルギー消費量(その他除く)</li></ul>		
E			の基準一次エネルギー消費量(その他除く)からの削減率		
В			( )%削減 ···③/①×100		

に関する事項①	(ZEB Orientedを 選択した場 合は②に記 載)		<ul> <li>□ モデル建物法の場合</li> <li>・再生可能エネルギーを除いたBEIm ( )・・・•</li> <li>・再生可能エネルギーを除いた削減率 ( )%削減・・・(1-•)×100</li> <li>□ 通常の計算方法の場合</li> <li>・更生可能エネルギーを加えたおまし、次でスルギーンジ帯長 (その体験く)</li> </ul>		□適
		再生可能 エネルギー加え	・再生可能エネルキ゛ーを加えた設計一次エネルキ゛ー消費量(その他除く)		
			<ul> <li>□ モデル建物法の場合</li> <li>・再生可能xネルギーを加えたBEIm ( )・・・❷</li> <li>・再生可能xネルギーを加えた削減率 ( )%削減・・・(1-❷)×100</li> </ul>		
		再エネ設備の有無・種類	□ 有 □ 無 □ 太陽光発電設備 □ 太陽熱利用設備 □ その他 ( )	□ 仕様書 □ 機器表 □	□適

確認	で表示でロ		設計内容(現況)説明欄		設計内容		
事項	確認項目	項目	設計内容(現況)	記載図書欄	確認欄		
ZEBに関する事項②	「ZEBマーク」 ク」を ※ZEB Oriented を ※対に で選場住含るのエ 全ま 用ッ 全ま 非に でまま 用ッ 全は 半に を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	□ 事務所等	□ 通常計算法又はBESTの場合 ・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑥ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量※)(その他除く) ( )GJ/年・・・⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費 削減量(その他除く) ( )GJ/年・・・®=⑥-⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量※)(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く)からの削減率 ( )%削減・・・®/⑥×100(≥40%)(※BESTについては換算後の数値) □ モデル建物法の場合 ・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm	計算書	□適		
	用途 1	用途 1		□ 学校等	□ 通常計算法又はBESTの場合  ・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑥  ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量※)(その他除く)( )GJ/年・・・⑦  ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減量(その他除く)( )GJ/年・・・⑧・・⑦  ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量※)(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く)からの削減率 ( )%削減・・・⑧/⑥×100(≥40%)で、  「※BESTについては換算後の数値) □ モデル建物法の場合  ・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm ( )・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	計算書	適
		□ 工場等	□ 通常計算法又はBESTの場合 ・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く) (	計算書	□ 適		

確認	確認		設計內容(現況) 説明欄		設計内容	
事項	項目	項目	設計内容(現況)	記載図書欄	確認欄	
ZEBに関する事項②	「Z E B B 内示	□ ホテル等	<ul> <li>通常計算法又はBESTの場合</li> <li>・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く)         ( )GJ/年・・・⑥</li> <li>・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑦</li> <li>・当該用途における再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑧=⑥-⑦</li> <li>・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(その他除く)の基準一次エネルギー 消費量(その他除く)からの削減率 ( )%削減・・・⑧/⑥×100(≧30%)(※BESTについては換算後の数値)</li> <li>□ モデル建物法の場合</li> <li>・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm ( )・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	計算書	□適	
	用途 2	用途 2	□ 病院等	□ 通常計算法又はBESTの場合 ・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑥ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(※)(その他除く) ( )GJ/年・・・⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費 削減量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑧=⑥-⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(※)(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く) からの削減率 ( )%削減・・・⑧/⑥×100(≧30%) (※BESTについては換算後の数値) □ モデル建物法の場合 ・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm	計算書	□ 適
		□ 百貨店等	□ 通常計算法又はBESTの場合 ・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑥ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(※)(その他除く) ( )GJ/年・・・⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費 削減量(その他除く) ( )GJ/年・・・®=⑥-⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(※)(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く)からの削減率 ( )%削減・・・®/⑥×100(≧30%) (※BESTについては換算後の数値) □ モデル建物法の場合 ・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm ( )・・・・③ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm ( )・・・・③ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(その他除く)の基準一次エネルギー 消費量(その他除く) からの削減率  ( )%削減・・・(1-⑥)×100(≧30%)	計算書	□適	

確認	確認		設計內容(現況) 説明欄		設計内容
事項	項目	項目	設計内容(現況)	記載図書欄	確認欄
事項 ΖΕΒに関する事項②	項目 「ZEBマーク」に 表示 ※ZEB Orientedを 選合 非に含まった。 ※対象を がは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	項目 飲食店等	設計内容(現況)  □ 通常計算法又はBESTの場合 ・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑥ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量*その他除く) ( )GJ/年・・・⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費 削減量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑧=⑥-⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(※)(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く) からの削減率 ( )%削減・・・⑧/⑥×100(≧30%) (※BESTについては換算後の数値)  □ モデル建物法の場合 ・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm	計算書	確認欄
	非住宅 用途 2		( )・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
		□ 集会所等	□ 通常計算法又はBESTの場合 ・当該用途の基準一次エネルギー消費量(その他除く) ( )GJ/年・・・⑥ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(※)(その他除く) ( )GJ/年・・・⑦ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費 削減量(その他除く) ( )GJ/年・・・③ ・当該用途における再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー 消費量(※)(その他除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く) からの削減率 ( )%削減・・・・⑧/⑥×100(≧30%) (※BESTについては換算後の数値) □ モデル建物法の場合 ・当該用途における再生可能エネルギーを除いたBEIm	計算書	適
ΖΕΒに関する事項③	象となる範	建物全体(評価 対象外を含む非 住宅部分)	計算手法 □ 通常の計算法 □ モデル建物法 □ BEST □ 通常計算法又はBESTの場合 ・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量 (※)(その他除く) ( )GJ/年 ・・・② ・再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減量 (その他除く) ( )GJ/年 ・・・③=①-② ・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費削減量 (※)(その他 除く)の基準一次エネルギー消費量(その他除く)からの削減率 ( )%削減 ・・・③/①×100(≥20%) (※BESTについては換算後の数値) □ モデル建物法の場合 ・再生可能エネルギーを除いたBEIm ( )・・・❶ ・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量(その他除く) の基準一次エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量(その他除く) の基準一次エネルギーがよいた。 ・再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量(その他除く) の基準一次エネルギーがは、こまによいまによいまによいまによいまによいまによいまによいまによいまによいまによい	計算書	適

確認	確認		設計内容(現況) 説明欄		設計内容
事項	項目	項目	設計内容 (現況)	記載図書欄	確認欄
B E S	E する表示 S (換算前	単位面積当たりの設計一次 エネルギー消費量(その他 含み)	□ BEST省エネ基準対応ツールの出力票による	□計算書	
に関す	の数値)	単位面積当たりの設計一次 エネルギー消費量(その他 除き)	□ BEST省エネ基準対応ツールの出力票による		
る		空気調和設備等に関する単位	面積当たりの基準・設計一次エネルギー消費量		□適
事項		空気調和設備	□ BEST省エネ基準対応ツールの出力票による		
		機械換気設備	□ BEST省エネ基準対応ツールの出力票による		
		照明設備	□ BEST省エネ基準対応ツールの出力票による		
		給湯設備	□ BEST省エネ基準対応ツールの出力票による		
		エネルギー利用効率化設備	□ BEST省エネ基準対応ツールの出力票による		

### (第四面) 【共同住宅の共用部分用】

共同住宅の共用部分

# 【一次エネルギー消費量に関する事項】

確認	確認		設計內容(現況) 説明欄		設計内容	
事項	項目	項目	設計内容(現況)	記載図書欄	確認欄	
事基項本		計算対象 床面積	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 平面図□ 求積図		
一次エネルギー		計算結果等	□ 通常の計算法 計算結果の記入 ・設計一次エネルギー消費量 (その他除く)	□ 計算書□ 仕様書	□ 適	
設備の概要	設備 機器 に概要	空調設備 換気設備 照明設備 給湯設備 昇降機 エネルギー 利用効率化設備	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 仕上表 □ 建計 図 □ 押	□適	
利用効率化設備 □ エネルキー消貨性能計算プログラムの田力票による □ 入力シート □ 入力シート □ 入力シート □ 大力シート □ 大力から □ 入力から □ 入力から □ 入力から □ 入力から □ 入力がら □ 入りがら □ 入りがら □ 入力がら □ 入りがら □ 入りがら □ 入りがら □ 入りがら □ 入りがら □ 入り						

### (第五面) 【住棟全体用】

共同住宅等全体及び複合建築物全体(住棟で合計値が必要な場合)

### 【外皮に関する事項】

確認事項	確認 項目	設計內容(現況) 説明欄			設計内容
		項目	設計内容(現況)	記載図書欄	欄確認欄
性能等の外皮	性能 基準等	外皮平均 熱貫流率	外皮平均熱貫流率 (UA)	□ 計算書	
			設計値( )【W/㎡K】 最も性能値が低い住戸の値 ※1	□ 仕様書	
			基準値( )【W/m <sup>2</sup> K】※2	□ 平面図	□ 適
		外皮平均日射熱 取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値 (η AC)	□ 立面図	
			設計値( ) 最も性能値が低い住戸の値 ※1	□ 建具表	
			基準値( ) ※2		

### 【一次エネルギー消費量に関する事項】

確認事項	確認 項目		設計內容(現況) 説明欄		
		項目	設計内容(現況)	記載図書欄	確認欄
事基項本		計算対象 床面積	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	<ul><li>□ 平面図</li><li>□ 求積図</li></ul>	
一次エネルギー		計算結果等	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 計算書□ 仕様書	□適

※2 一次エネルギー消費量は、第二面(全住戸の合計したもの)、第三面(非住宅部分全体)、第四面(共用部分)の合計値の記入となります。

3 127 (2 0 7 0 7 )		
備考 ※計算内容、入力内容等 に関して、評価員への伝 達事項があれば記入す る。		

<sup>※1</sup> 共同住宅全体を評価する場合は最も性能値が低い住戸の値が評価書の表示となります。

<sup>※2</sup> 住戸ごとに基準値を満たす必要があります。